

令和3年度日米共同方面隊指揮所演習（YS-81）の実施 について

本日、防衛省南関東防衛局から、日米共同方面隊指揮所演習の実施について、次のとおり情報提供を受けましたので、お知らせします。

1 名称

令和3年度日米共同方面隊指揮所演習(日本)(YS-81)

2 目的

陸上自衛隊及び米陸上部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練して、同活動に係る能力の維持及び向上を図る。

3 期間

令和3年12月1日(水)から13日(月)まで(13日間)

4 場所

伊丹駐屯地、朝霞駐屯地、座間駐屯地、相浦駐屯地等

5 座間駐屯地参加部隊

- 陸上自衛隊 陸上総隊(約100名)
- 米軍 在日米陸軍司令部(数名)、陸軍第1軍団(約110名)、太平洋陸軍(約10名)
- 豪軍(オブザーバー参加) 陸軍第1師団司令部(約20名)

6 演習の概要

- 日米の指揮幕僚活動の能力向上を目的とした、陸上自衛隊の最大かつ最重要の日米共同演習
- より効果的な演練のため、日米共同により年間を通じた演練を実施
- 演習内容は、着上陸する敵部隊への対応作戦を基本とし、この作戦を日米共同で演練

7 演習の形態

TV会議の活用も含めた訓練を実施(実動訓練は実施しない。)

8 新型コロナウイルス対策

- 演習に参加する自衛隊員については、防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を十分に講じて参加
- 米軍は、在日米軍の定める基準等に基づき、自衛隊と同様に必要な感

染症対策を徹底

- 国外から訓練に参加する米軍関係者は、2回のワクチン接種を完了するとともに、演習参加前にPCR検査を受検し、陰性の者のみが参加
 - 11月28日(日)以降、米本土から演習に参加する米陸軍の人員(約120人)が、新型コロナウイルス感染症対策のため、キャンプ座間において10日間の停留を実施しつつ、陸上自衛隊参加部隊との間で訓練を実施
 - 停留期間中は感染症対策を万全に行った上で訓練を実施し、基地から外出しないことについて米側に対して申し入れ済み
 - 日米ともに陽性患者が発生した場合、各自治体に対する情報提供とともに、対外公表内容について米側と調整した上で、日米共同にて公表を行う。
- 9 本市要請事項
- (1) 今回の演習及び停留について、運用の変更がある場合には、適時適切な情報提供を行うこと。
 - (2) 演習に当たっては、市民に不安を与えないよう、十分配慮すること。
 - (3) 基地の機能強化につながるものがないこと。
 - (4) 演習及び停留中、基地従業員等と接触する際には、感染防止対策を徹底すること。
 - (5) 万が一、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合には、感染拡大防止対策を講じ、市に対し速やかに情報提供を行うこと。

問合せ先 基地対策課 電話 042-769-8207(直通)
